

令和2年度研究推進計画

安浦中学校区 校番(33)安浦小学校

校長名 山崎 義之

1 研究主題, 研究内容等について

研究主題	<p style="text-align: center;">安浦中学校区 研究主題</p> <p style="text-align: center;">「主体的・対話的に深く学びながら, 思考力・判断力・表現力を高める授業づくり」 ～単元構成逆向き設計シートを活用した単元づくりと学び合いを通して～</p>
主題設定の理由	<p>(1) 主題設定の理由</p> <p>昨年度は, 中学校区での研究テーマ「主体的 対話的に学びながら, 思考力・判断力・表現力を高める授業づくり」を受けて研究に取り組んだ。教科は自由で, パフォーマンス課題を設定し, 主体的・対話的な学びを目指した授業づくりについての研修を進めた。全員が1回以上はパフォーマンス課題を設定し, 逆向き設計の考え方で単元を構成して, パフォーマンス課題に向けて一つ一つの授業を行うようにした。その結果, 全国学力・学習状況の結果でも, 全国平均を上まわることができた。</p> <p>そこで今年度も継続して, パフォーマンス課題を取り入れた単元を構成するとともに, 新たに「考える授業」とは何かを明確にした授業を目指すことで思考力・判断力・表現力を高めていく。そのために, 学習者の視点に立った授業を行うとともに, 本質に迫る発問を工夫したり, 考えるための技法を使ったりしながら資質, 能力を高めていくこととする。</p>
研究仮説	<p>(2) 研究仮説</p> <p>付けたい力を明確にした単元構成逆向き設計シートの活用によるパフォーマンス課題を取り入れた単元構成と思考を深める場を工夫する。また, 本質に迫る発問を工夫したり, 考えるための技法を使ったりしながら学び合いの場を工夫すれば, 児童の思考力・判断力・表現力を高めることができるであろう。</p>
研究内容方法	<p>(3) 研究内容及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元構成逆向き設計シートの活用によるパフォーマンス課題を取り入れた単元構成の工夫 ○ 思考を深める学び合いの場を工夫した考える授業づくり ・本質に迫るための発問 ・考えるための技法の活用 ・根拠を基に理由付けた発言や主張
検証の視点と指標(方法)	<p>(4) 検証の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元構成逆向き設計シートの活用により, 目指す資質・能力は身に付いたか。 ○ 学び合いの場の工夫した「考える授業」により, 主体的・対話的な学びにつながり, 児童の思考が深まったか。 ○ 単元構成逆向き設計シートによる単元構成の工夫と学び合いの場の工夫で, 児童の思考力・判断力・表現力を高めることはできたか。 <p>(5) 検証の指標(方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ルーブリックによる評価において児童の達成度80パーセン以上を目指す。 ○ 学び合いの場の工夫で思考が深まった児童80パーセント以上を目指す。 ○ 活用力を問うテストの通過率70パーセント以上を目指す。 <p>(6) 検証の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の終わりにノート等によるルーブリックの達成状況を分析・評価する。 ○ 学び合いでの児童の記述や発言, 振り返り, アンケート等の記述を分析・評価する。 ○ 活用力を問うテスト(国語・算数)等, 教科の内容に応じた問題で評価する。

2 検証計画

学期	検証内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協議会において、協議の視点に沿って成果と課題を分析する。 ・単元の終わりにノート等によるルーブリックの達成状況を分析・評価する。 ・活用力を問うテスト（国語・算数）等，教科の内容に応じた問題で評価する。 ・児童アンケート及び授業の振り返りにより，1 学期の成果と課題を整理する。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協議会において，協議の視点に沿って成果と課題を分析する。 ・単元の終わりにノート等によるルーブリックの達成状況を分析・評価する。 ・活用力を問うテスト（国語・算数）等，教科の内容に応じた問題で評価する。 ・児童アンケート及び授業の振り返りにより，2 学期の成果と課題を整理する。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を紀要作成することで振り返り，1 年間の成果と課題を整理する。

3 校内研修計画

- 1 学期に 3 回の研究授業を行う。内容は昨年の授業提案を参考にする。（3 年，4 年，6 年）
- 全体研修は，指導主事等の派遣を要請する。
- 1 学期に，管理職による授業観察を行う。その際，略案（A 4 版 1 枚）を提出する。
- 研究会に向けて，各ブロックで模擬授業を行う。
- 全体研修終了後，一人一人振り返りを書き，提出する。
- 指導主事を派遣する授業研究（☆）は，原則，特別日課で 6 時間目（14：00～）とする。

学期	月日	研修内容
1 学期	4 / 1	○研究主題及び校内研修計画，ぐんぐんタイムについての研修
	4 / 2	○単元構成逆向き設計シートの活用による単元構成の工夫及び学び合いの場の工夫についての研修
	4 / 8	○研究授業の進め方についての研修（指導案形式，協議会の進め方） ○研究授業の実施
	4 / 27	・研究会に向けて①
	5 / 13	・研究会に向けて②
	5 / 20	・授業研究指導案検討①
	5 / 25	・授業研究指導案検討②
	6 / 1	・授業研究指導案検討③
	6 /	・「みんなで新聞を作ろう」授業研究 4 年
	6 /	・「新しい図形のアイテムゲット」授業研究 3 年
	6 /	・「おいしい比を作ろう」授業研究 6 年
	7 /	○1 学期の成果と課題
	7 /	○指導案検討
	8 /	○全国学力テスト結果の分析と課題の整理
8 /	○指導方法等の改善計画について	
8 /	○家庭学習・自主学習についての研修	
8 /	○研究会に向けて③	
2 学期	9 / 7	・模擬授業①
	9 / 16	・模擬授業②
	9 / 23	・模擬授業③
	9 / 28	・研究会に向けて④
	9 / 30	・研究会に向けて⑤
	12 /	○2 学期の成果と課題
	1 /	○3 学期の校内研修計画及び重点的な取組について
3 学期	1 /	○研究紀要について
	2 /	○今年度の成果と課題，来年度の取組について

4 研究公開の予定について

公開予定日	令和 2 年 10 月 2 日（金）
タイプ	提案型
公開範囲	呉市内小中学校
公開内容等	小中一貫教育指定

